

公 表

国立大学法人東京外国語大学学長選考結果について

学長選考・監察会議は、国立大学法人東京外国語大学学長選考・解任審査等規程第5条の規定に基づき、下記の者を次期学長候補者として選考した。

記

林 佳世子

(任期 令和5(2023)年4月1日～令和7(2025)年3月31日)

選考の基準

別紙1(国立大学法人東京外国語大学学長選考方針抜粋)のとおり

選考の経緯

別紙2(次期学長候補者選考経緯)のとおり

選考理由

学長選考・監察会議は、被推薦者の推薦書類(推薦理由書、学長候補者の経歴、業績一覧)、意思表明書及び学長選考・監察会議が求める事項を基に被推薦者との面談を実施し、慎重に議論を重ね総合的に判断した結果、合議により林佳世子氏を国立大学法人東京外国語大学学長選考方針に合致する次期学長候補者として決定した。

林佳世子氏は、現学長としてこれまでの在任期間において、未曾有の新型コロナウイルス感染症に対し早期に適切な対応を行ったほか、国立大学法人を取り巻く厳しい環境の中、大学が成すべき課題を明確にし、リーダーシップを発揮して大学を導いてきた。今後についても学内の期待と信頼に基づき、適切なリーダーシップを発揮し東京外国語大学をより一層発展させていくことを期待する。

令和4年11月2日

国立大学法人東京外国語大学学長選考・監察会議

議 長 來 生 新

国立大学法人東京外国語大学学長選考方針抜粋

1. 学長に求められる資質・能力

- (1) 人格が高潔で、学識に優れ、学内外の信頼を得ることができること。
- (2) 東京外国語大学のトップリーダーとして、本学の教育研究活動を適切かつ効果的に運営できること。
- (3) 本学の意欲的な未来像を明確に描き、その実現のためのミッションを着実に達成できる力量を備えていること。
- (4) 本学の財政基盤の確立と学内の適切な資源配分を実現できる、優れたマネジメント能力を有していること。

2. 達成すべきミッション等

(1) 社会との共創

社会における言語運用をめぐる問題解決に向けた活動を行う。具体的には、言語教育のナショナルセンターとしての機能を強化し、社会実装を目指した、多言語の習得判定や言語教育の新たな手法を提案するための取組を推進する。

(2) 教育の高度化

学士課程においては、卒業までに学修により身に付く力を可視化した教育プログラムを整備し、将来にわたり社会に対し、人々の共生に寄与する力（言語力・専門力・問題解決力など）が還元されるよう教育の質を保証する。

大学院課程においては、優れた研究者を養成するとともに、多言語多文化化する社会で求められる高度な専門知識を備えた人材を養成する。

(3) 高度で融合的な研究の推進

世界における多文化共生のメカニズムを解明する人文・社会科学の研究を牽引するとともに、多分野の研究者が参加し問題解決を目的とした融合型研究プロジェクトを推進し、研究成果の社会実装を目指す。

(4) 強靭なガバナンス体制の構築

大学内外の多様な意見を大学経営に生かし、公正で透明性の高い法人運営の実現を目指すための強靭なガバナンス体制を構築する。

次期学長候補者選考経緯

年月日	事項	備考
令和4年6月8日(水)	・学長選考方針の決定 ・学長選考日程の決定 ・学長候補者の推薦を求める公示の決定	【第1回学長選考・監察会議】
6月17日(金)	・学長選考方針の公表	
8月22日(月)	・学長候補者の推薦を求める公示	
8月22日(月)～9月2日(金)	・学長候補者の学内推薦受付	
9月16日(金)	・学長候補者1名を選定 ・学内意向調査を行わないことを決定	【第2回学長選考・監察会議】
9月16日(金)	・学長候補者選定結果通知	
9月26日(月)	・候補者から諾否回答(承諾)及び意思表明書提出	
10月31日(月)	・候補者の面談を含む選考を実施 ・次期学長候補者の決定	【第3回学長選考・監察会議】
11月2日(水)	・次期学長候補者の公表	